



まちづくり団体の取り組み
～こんなことやってます～

**住みよい暮らしよいまちづくりを目指して
『笠間市まちづくり教室』**



「笠間市まちづくり教室」は、自分たちのまちが「住みよいまち」になるために、どうすべきかを住民と行政が相互の理解を図り連携して、「住みよいまち」「暮らしよいまち」を共に目指すことを目的とし、平成9年度に発足しました。4グループ19名でスタートしたまちづくり教室でしたが、平成17年度は14グループ96名のメンバーが活動しています。

まちづくり教室の特徴は、グループごとにテーマを決め、自主的に活動をしていることです。参加者は、大学生から高齢者、商店主や主婦など幅広く、身の回りの問題を気の合う仲間と考えることからまちづくりに関わっています。また、各グループの代表が集まる「生徒会」を設置し、まちづくり教室全体の運営を行っています。



グループの活動紹介

河川浄化のPR



鯉まつり（9年1組 稲田鯉まつり実行委員会）

人が集い、笑顔になれる場の提供



関東六大学寄席（5年3組 春夏秋冬倶楽部）

テーマは「交流」



じゃがいもの収穫（5年4組 717番地）

陶によるまちづくり



筒灯ワークショップ（8年1組 座・陶の小径）



ひとにやさしいまちづくり

平成15年より2年間かけて調査した公共施設や不特定多数の人が利用する施設等のバリアフリーに関する情報をまとめ、昨年「ふくしまップ」が完成しました。



福祉マップ (8年2組 バリアフリーのまちづくり)

生徒会事業紹介

先進地視察「栃木県栃木市」



まちづくり教室では、毎年1回まちづくりについて優れている他市町村及び他団体の視察を行っています。昨年度は、栃木県栃木市を訪れ「丹波川と蔵を活かしたまちづくり」を視察し、まちづくり団体「ネットワークとちぎ」と意見交換を行いました。「自ら考え、自ら実行する」をモットーに活動するネットワークとちぎとの交流は、メンバーにとって、今後のまちづくり教室を考える上で、貴重な経験になりました。

第2回茨城大学卒論発表会



まちづくり教室に参加する茨城大学生による卒論発表会を開催しました。2回目となる今回は5名の学生が実際に大学に提出した論文を市民に向けて発表しました。テーマは「まちづくり」でしたが、「温暖化対策」や「ユニバーサルデザイン」から「笑い」まで幅広く、まちづくりの大切さを改めて感じました。市民からの厳しい意見や質問も大学生にとって、良い勉強になりました。

「まちづくり教室」のこれから

友部町・岩間町と市町合併をひかえた昨年度は、生徒会事業の一環として「今後のまちづくり教室を考える」をテーマに、2回の意見交換会を行いました。参加したメンバーからは、「友部や岩間で活動する団体と交流することで、活動の幅を広げていきたい」、「これまで続けてきた活動をふまえて、しかし、マンネリ化しないように発展していきたい」などの意見が出ました。

今年度、「笠間市まちづくり教室」は10周年を迎えます。3月19日の市町合併により誕生した新「笠間市」において、まちづくり教室のあるべき姿を模索しながら、成長していきたいと思えます。「笠間を良くしたい!」と思う方であれば、どなたでもご参加いただけます。市民と行政が一体となったまちづくりの実現のため、たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】

笠間市市民生活部市民活動課まちづくりG

TEL 0296-77-1101 (内線 135)

